

| | | | | |
|---|--|---|--|---|
| 教科名 | 地理歴史 | 科目名 | 日本史A（3年次）【2単位】 | |
| 授業形態 | 講義形式 | | | |
| 選んでほしい生徒 | 日本の近現代史に関心を持っている人（日本史Aと地理Aから選択して履修する） | | | |
| 科目の目標 | わが国の近現代史を学習することにより、歴史的思考力を培い、国際社会において主体的に生きる力を養う。 | | | |
| 身に付けてほしい学力 | 1 日本の近現代史に対する理解を深め、社会人としての教養や常識を養う。 2 時事問題に関心を持ち、歴史と関連づけて考える姿勢を身に付ける。 | | | |
| 学習計画 | 単元・教材 | | 学習のあらまし | |
| | 【1学期】 (1) 明治維新と近代国家の形成 (2) 国際関係の推移と近代産業の成立 【2学期】 (3) 政党政治の展開と大衆文化の形成 (4) 第二次世界大戦と日本 (5) 戦後の政治と社会 【3学期】 (6) 経済国家としての発展 (7) 現代の日本と世界 | | ・教科書の内容に沿って、近現代史の基礎・基本的事項を学習し、特に歴史の流れを把握する。 ・演習プリントの解答等によって、学習内容の定着を図る。 | |
| 評価の観点・評価方法 | 関心・意欲・態度 | 思考・判断 | 資料活用の技能・表現 | 知識・理解 |
| | ・日本の近現代史の大きな枠組みと流れに関心を持ち、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる態度を身に付けている。 | ・日本の近現代史の展開から課題を見出し、日本を取り巻く国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察できる。 | ・日本の近現代史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することで、歴史的事象を追求する方法を身に付けるとともにその過程や結果を適切に表現することができる。 | ・日本の近現代史の展開に関する基礎的な事項を、日本を取り巻く国際環境と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 |
| 上記の観点を踏まえ、定期考査、授業態度、課題、レポート等の提出物を総合的に判断して評価を行う。 | | | | |
| 学習のアドバイス | 1 授業を大切にし、板書事項を参考にして独自のノートづくりをしよう。 2 教科書を参考にし、歴史の流れをつかもう。 | | | |
| 教材費 | 教科書 約700円 | | | |
| その他 | 国際化が進展する中で、日本の近現代史を理解しておくことはますます重要になっています。大学受験に直接かわかる科目ではありませんが、将来、社会人として役立つ知識が得られると思います。 | | | |